

ライフサポート：はた

幹事会での「学習会」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています!)

N044 : 2017. 6. 30

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24
連合高知西地協内 TEL:34-9191
発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話や、イベントの広報などがあればお知らせ下さい。皆さんからの、投稿をお待ちしています。

< 7月5日(水) 10:00~ > 西地協会議室

講演：「消費者トラブルについて」

講師：幡多広域消費生活センター
(坂本、九谷) さん



最近、高齢者を狙った「悪質商法」や、「振り込め詐欺」についての報道がなされていますが、今回は特にインターネットに関係した有料動画サイト（主にアダルト関係）や訪問販売その他での詐欺について、事例を参考に講演をして頂きました。

九谷さんからは**特殊詐欺**（不特定の方に対して、対面なく、電話、FAX、メールを使って行う詐欺など）について事例を交えての説明がありました。



< 事例 >

- ・ショートメールで有料サイト未納の通知（身に覚えがなければ電話せよ）が来た。
 - ➡ 身に覚えがないので電話した。 ➡ 一部でもいいから払うよう催促される。
 - ➡ 不安になりアマゾン等のギフト券をコンビニで購入し支払。

このように支払ってしまうと、戻ってくることはまず無いので、無視するか、必ず相談に来てほしい。

また、裁判所を名乗り「借金を返せ」「未納料金を払え」「相続権が発生したので連絡するように」といった内容の手紙が無差別に送られてくることがありますが、裁判所からの通知は「特別送達」という特別な郵便により配達され、裁判所からの通知が郵便受けに投げ込まれることはありませんし、「訴状」という表記で届くこともないとのことです。（名宛人に直接手渡すことが原則）

坂本さんからは、パソコンなどで、無料・有料のアダルトサイト等を閲覧していると、ホームページに削除できない請求画面が張り付くことがあります。これも無視して連絡してはいけません。削除は出来ますので必ず相談してくださいとのことです。（幡多ライフでもOKです）



また、「私だけは詐欺にはかからない」と思っている人も多いと思うが、人の話をしっかり聴くように教えてこられた年配の方は、途中で電話等を切ることが出来ない場合がある。そして、最後まで聴くと彼らは人を騙すプロであり、ありとあらゆる手段で追い詰めてくるので、年配の方は特に注意する必要がある。

< 事例 >

★最近幡多であった事例としては、西土佐の方で訪問販売が法律で規制されたため訪問購入という手法の被害にあわれた方がいる。

これは、不用品を何でも購入すると電話があり、訪問を受けると

こちらが売りたい物には見向きもしないで、貴金属の有無についてしつこく聞いてきたため、やむを得ず貴金属を2万円で渡してしまった。

返してもらいたいと連絡したが、もう手元にはないのでクーリングオフは出来ないとの返事であった。(平成25年2月21日～クーリングオフ可能：8日以内)

- ★健康食品の事例では、新聞広告をみて電話で注文をした。➡ 1ヶ月後にまた同じ商品が届いたが、請求書も何もなかったので無料だと思いそのままにした。
- ➡ 更に1ヶ月後に6千円の請求書と共に商品が届いたので業者に電話したところ期日までに断りの電話がなかったので、定期購入になっているとのこと。
- ➡ 通信販売は、返品特約の記載がないとクーリングオフの対象にならないので注意が必要。

この他、インターネット購入等でのトラブルなどについての話があり、色々な手口での詐欺や詐欺まがいの商法が横行しているので、十分注意してほしいとのことです。



幡多広域消費生活センター

消費生活相談窓口

ご相談受付

月～金曜日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)



0880-34-6301

予約は不要ですが、相談が重なった場合、時間をずらしていただく場合がございますので、予めご了承ください。

消費生活相談員が、商品やサービスの契約トラブルなど消費生活に関する相談を受け付け、相談者の皆さんと共に考え、解決に向けてお手伝いします。相談内容によっては他機関を紹介させていただく場合があります。**相談は無料、秘密厳守です。**

高齢者など、交通手段のない方は訪問相談サービスがご利用いただけます。



高知県四万十市右山五月町8番22
(四万十市立働く婦人の家内1階)

< 8月2日(水) 10:00~ > 西地協会議室

講演: 「高知県政報告」

講師: 高知県議会議員 石井 孝 さん



今回は2016年度の活動報告を中心に、今年度の課題も含めてお話ししたいと思います。

現在は6月議会が終わり、9月議会までに期間でありますので、色々とところに行き、皆さんのご意見を聞き、地域の課題などを含めて、9月議会と12月議会の質問に生かしていきたいと思っています。

具同地区や名鹿では報告会を終えており、すでに聞いていただいている方もいらっしゃいますが、会を重ねるごとに皆さんのご意見を聞き、更新しながらやっておりますので、今後の課題を教えてくださいたいと思います。

先日は具同田黒1区の区長と県の土木事務所に行き、池田川や井上川が大雨になると危険水域まであがってくるので、その対策について県と話をしてきました。

それから、森沢・間での県政報告のあとは、市の土木担当者と一緒に地域の課題を確認するとともに、地域によっては市議員の方と一緒に市政報告と県政報告をするなど、県と市がつながりタッグを組んでやっています。

県議会での一年間の流れとしては、まず、4月にどういう委員会に所属するかが決まり、各委員会の中で県関連機関や内容を調査し6月の定例会が始まります。(最初の年は総務委員会に所属となり、2年目には商工農林水産委員会の所属となり、3年目の今年は危機管理文化厚生委員会の所属となりました。)

それから9月定例会・12月定例会・2月定例会と一年間の議会が終わりますが、その間に委員会の調査や行事もあります。

質問については「県民の会 2016年度 石井孝 県政報告」に詳しく掲載しておりますが、出来るだけ経緯も含めた詳しい内容を知っていただくこととした結果、かなりのボリュームになってしまいました。もう少し簡潔にとのご意見もあるようですので、今後は簡易版(2018年4月頃)も作成するつもりでいます。

昨年10月には高知県が韓国の全羅南道と姉妹都市協定の締結のため、尾崎知事と県会議員10名で初めての海外出張に行ってきました。今回の締結は、韓国で3000人以上の孤児を育てた、高知市出身の「田内千鶴子さん」の功績をたたえてのことです。(韓国では反日感情がとても強いのですが、同道の李洛淵[イ・ナクヨン]知事が田内千鶴子さんを前面に打ち出すことにより、今回の締結となった。)

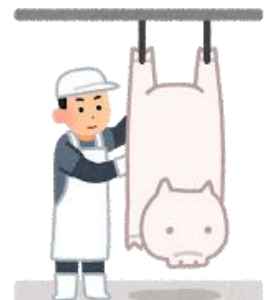
< 3月の食肉センターの調査 >

四万十市と高知市の食肉センターが築40年50年となり、工事費用が何十億となるのでその建て替えをどうするのかというのが課題となっている。

高知市長は「各自治体がお金を出し合って10年以上赤字補填を続けてきているが、建て替えしたところで黒字になるとは限らないので、四万十市の食肉センターとの一本化も視野に四万十市長との直接協議を行いたい。」

四万十市長は「建て替えをしないといけないが、補助金がないと難しい。一本化については県の検討会の協議内容を踏まえたうえで対応する。」

との考えである。 ※一本化すれば国から補助がある。



高知県としては一定のコストを背負って対応していく考えであり、基本的には高知市と四万十市の両方ほしいが、負担してくれるという金額がいくらなのか、また、いつまでなのかが不透明である。

隣の愛媛県大洲市にはすでに一本化された施設があり、さらに海外輸出用に 150 億円ぐらいかけてすごい施設を計画中である。

高知県の一本化した施設が本当に四万十市でいいのか。現在、整合性をとるために検討委員会等で話をしている。

<2016 年度 議会での質問>

9 月定例会（一問一答 40 分）

- ・働き方について
- ・情報産業について

1 2 月定例会（一括質問 40 分）

- ・自然との共生について
（小規模林業支援について）
- ・建設発生土の処分場設置について
- ・医師確保の取り組みについて
- ・教育課題について

<2017 年度の主な県政課題>

●財政健全化

高知県の基金（何かの時のために積み立てているお金）は 474 億円ある。

全国での基金の合計が現在は 21 兆円となっているため、国は「10 年前から 8 兆円も伸びている＝地方はお金を持っている」ということから、基金が多い県には地方交付税の配分を少なくしてもいいのではないかという議論をし始めている。

国がそのような政策をとると、少子高齢化の高知県はすぐに危機的な状況になってしまうので、知事も全国知事会で反対の議論をしており、議会でも全会派一致で反対している。

●人口減少と各産業の人手・人材不足へ対応：「事業承継・人材確保センター」

●食肉センターの建て替えに関する課題：前述のとおり検討委員会で協議

●社会基盤整備（幡多地域に関するもの）：「国道 441 号」「横瀬川ダム」「初崎堤防」

●幕末維新博

メイン会場が「高知歴史博物館」「坂本竜馬記念館」で、サブ会場が「こうち旅広場」となっているので、どうしても盛り上がりが高知近辺となってしまうが、地域にも波及するよう取り組んでいきたい。



今後は、皆さんの声で質問を作りたいと思っておりますので、地域の課題など何かありましたらご意見・ご要望をぜひともよろしくお願いいたします。

早く涼しくなるといいですね！



＜7月19日（水）10：00～＞ 四万十市中央公民館
講演：「認知症の基礎知識と認知症予防のヒント」
講師：堀口直子さん
長崎県出身・武蔵野音楽大学ピアノ科卒業
（3000曲レパートリー）



以前、中央労福協主催の研修会に出席した、幡多ライフ幹事の加取さんからの報告（2016年12月の会報41号）の中で認知症の講演が大変面白く参考になるので、幡多でも行ってはどうかとの話があり、高知県労福協主催で高知と幡多の2か所で行うこととなりました。

2時間近い講演でしたので、内容を全部ご紹介することは出来ませんが、要約すると下記のようなものでした。



★まず、自己紹介の中で4歳のころからピアノを習い、絶対音感を体得されたとのことで、全ての音が音階で認識できる。また、1回聞いた音楽は絶対忘れないため、レパートリーが3000曲にもなってしまった。

★この仕事を始めたきっかけは、介護施設で演奏を行う中で皆が知っている音楽を演奏すると大変喜ばれた。また、失語症の方でも歌を歌えるという説もあるほど、音楽にはパワーがある。これを広げて何かの役に立てたいと思うようになった。

もう一つは、祖母が認知症を発症し、その後意識不明の危篤状態になったため、何かしてあげようと思い、祖母の大好きな「矢切の渡し」を耳元で歌うと、3回とも呼吸器の方にハッとした反応があった。音楽が何かを変えているなど感じた。

余命4日と言われていたが、4ヶ月後は話せるまで回復（認知症は治らず）し2年6か月後に亡くなった。（この間両親が歌って聞かせていた。）

このような経過から、「日本音楽レ・クリエーション指導協会」を設立し活動を開始することになった。

★脳のメカニズムと役割は、大きく分けると前頭葉（思考・判断・感情他）頭頂葉（運動他）後頭部（視覚他）側頭葉（記憶他）の4つに別れる。では、音楽はどここの部位が活動するのか？
⇒脳全体を使う。⇒脳の活性化を促す。

人間の行動は、脳が全て支配しているので音楽から生まれる感情は行動をも左右する。

自分の好きな歌を歌うと、気分が良くなり元気になる感覚も経験した方も多と思うが、自分なりのテーマ曲（リラックスできる曲やストレスが発散できる音楽）を持つとよい。

★認知症患者数の推移については、2015年の統計では550万人（予備軍：450万人）となっているが、団塊の世代が75歳になる2025年には730万人（予備軍580万人）になると言われている。（予備軍の50%が認知症になるとのこと）

認知症は誰でも必ずなる。ならず亡くなった方は、認知症になる前に亡くなっただけで、70才で認知症になるか100歳もしくは105才でなるかの違いです。

したがって、体の健康と共に「脳の健康」をいかに維持していくこと



が大切かということになりますが、その維持について「運動と音楽、コミュニケーション」を取り入れたレクリエーションが効果的と考えている。

また、高血圧や糖尿病などの生活習慣病も認知症のリスクが上昇すると言われており、健康的な生活習慣を心がけることも重要です。

以上のような内容と共に「脳トレ実践！」として、実際に歌を歌いながら指を動かす運動を行うなど、ユーモアを交えての大変解りやすい講演でした。



~~~~~お知らせ~~~~~

<幡多ライフの学習会>

9月6日(水) 10:00~西地協会議室

「労金・全労済の取り組み等について」日本トリムの説明会終了後

講師：今城支店長・小野支所長

10月4日(水) 10:00~西地協会議室

「現在調整中」

※第11回幡多ライフサポートセンター・労金(チャリティー)ゴルフコンペ

10月14日(土) 四万十CC

~~~~~

譲りたいもの・欲しい物コーナー

あなたやお知り合いの方で、捨てるのはもったいない物、逆に誰か譲ってくれる方はいないかな~という時はご一報下さい。(有償・無償、匿名=自由)

※〈事務局で物品の保管は出来ませんのでご了承ください〉



連絡先：連合高知西地域協議会 事務局

TEL 0880-34-9191 FAX 0880-34-9192

E-mail: nishi-chikyo@kochi.jtuc-rengo.jp

(提供物品情報)

品名	物品の状況	提供者
無し		

(希望物品情報)

品名	物品の状況	希望者
無し		